

(様式3)

事業所 ほっとハウスあかしなの家

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ感染予防対策中、ホーム内外において縛りがあり、感染への守りに徹した暮らしとなり外出する事もなくなってしまった。	コロナ感染症も5類となり、以前のような暮らしに完全には戻れていないが、今後の見通しは明るいとみて通常のイベントやボランティア、児童館との交流を復活させたいと思う。	施設内に、子供や近隣の方が、安心して交流を楽しむ雰囲気作りをし、声掛けしたり、イベント情報に目を向けたりして、前進したい。	5ヶ月
2	20	コロナ感染予防対策中において、会いたい方や、ご家族等とも時間制限され、感染させてはいけないとの思いから、面会の足をとどめてしまう状況があった。	ご家族や大事な方との面会を再開し、寂しい想いを緩和する。	ご家族や介護スタッフ等と行ってみたいところ、食べたいものを、一緒に楽しめるような取り組みをして、暮らしの安心感に繋げたい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。